第91号

議会から こんにちは

2024 11.1 令和6年

佐野市役所周辺には、令和7年2月に佐野市制20周年を迎えることを記念した旗が設置されています。このロゴマークは、佐野市が一つとなり、誰からも愛される佐野市となるようにと願いを込めて考案されました。

令和６年９月定例会

■令和5年度決算を認定
■決算審査特別委員会で延べ31人が質疑
■一般質問に20人が登壇

さの 市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。➡

佐野市議会 検索

佐野市議会スマート中継 検索

令和5年度

一般会計決算、特別会計決算、企業会計決算を認定

決算審査特別委員会（パソコン・スマートフォンなどで録画画像をご覧になれます）

委員長
春山　敏明

副委員長
小森　隆一

９月定例会には、令和5年度一般会計決算、特別会計決算及び企業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、９月24日、25日、26日、27日、30日の５日間にわたり審査を行いました。

特別委員会では、一般会計決算に18名、特別会計決算及び企業会計決算に13名の委員が質疑を行い、市に対する決算審査要望書を取りまとめ、全７件の決算議案を認定しました。（議決結果は3ページをご覧ください。）

令和6年 **佐野市議会　議会中継**

「令和６年第５回（９月）定例会・常任委員会・決算審査特別委員会」からご覧ください。

決算審査特別委員会の様子

令和5年度　決算の概要

●一般会計及び特別会計

（１万円未満四捨五入）

区　分		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計		613億7,263万円	592億480万円	563億3,796万円	28億6,684万円
特別会計	国民健康保険事業（事業勘定）	120億6,797万円	114億8,965万円	113億2,323万円	1億6,643万円
	国民健康保険事業（直営診療施設勘定）	2億8,722万円	2億3,011万円	2億3,011万円	0円
	介護保険事業（保険事業勘定）	126億1,002万円	122億7,122万円	119億142万円	3億6,980万円
	後期高齢者医療	16億30万円	15億9,327万円	15億8,893万円	433万円
	小計	265億6,551万円	255億8,425万円	250億4,369万円	5億4,056万円
合計		879億3,814万円	847億8,905万円	813億8,165万円	34億740万円

（注）各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計欄については実際の数値と異なることがあります。

●企業会計

（１万円未満四捨五入）

区　分		水道事業会計		下水道事業会計	
		予算額	決算額	予算額	決算額
収益的収支	収入	26億5,961万円	25億4,495万円	42億8,258万円	42億7,952万円
	支出	26億7,312万円	25億2,029万円	39億7,199万円	34億2,845万円
資本的収支	収入	5億6,804万円	3億8,837万円	22億4,281万円	15億6,984万円
	支出	16億6,802万円	13億2,825万円	41億9,199万円	31億6,146万円

決算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件　名	議決結果	
一般会計			
議案第81号	令和５年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
特別会計			
議案第82号	令和５年度佐野市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第83号	令和５年度佐野市国民健康保険事業特別会計（直営診療施設勘定）歳入歳出決算の認定について	認定	賛成全員
議案第84号	令和５年度佐野市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第85号	令和５年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
企業会計			
議案第86号	令和５年度佐野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員
議案第87号	令和５年度佐野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員

賛否が分かれた議案

議案番号	件　名	賛成	反対	議員名　[議席番号順]																				
				1	2	3	4	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				長浜成仁	蕪原政夫	神宮次秀樹	小森隆一	早川貴光	小倉健一	金子保利	慶野常夫	川嶋嘉一	菅原達	木村久雄	田所良夫	鈴木靖宏	久保貴洋	澤田裕之	滝田洋子	鶴見義明	小暮博志	山菅直己	春山敏明	横井帝之	飯田昌弘	高橋功
議案第81号	令和５年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	20	2	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第82号	令和５年度佐野市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	20	2	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第84号	令和５年度佐野市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	20	2	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第85号	令和５年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	20	2	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

※○＝賛成、×＝反対
※川嶋嘉一議長は表決に加わりません。

決算審査特別委員会質疑者一覧

一般会計

発言順序	氏　名	発言順序	氏　名
1	久保貴洋	10	木村久雄
2	澤田裕之	11	蕪原政夫
3	菅原達	12	早川貴光
4	鶴見義明	13	慶野常夫
5	田所良夫	14	滝田洋子
6	長浜成仁	15	小倉健一
7	鈴木靖宏	16	小暮博志
8	神宮次秀樹	17	高橋功
9	横井帝之	18	山菅直己

特別会計・企業会計

発言順序	氏　名	発言順序	氏　名
1	長浜成仁	8	小倉健一
2	久保貴洋	9	横井帝之
3	鈴木靖宏	10	神宮次秀樹
4	澤田裕之	11	滝田洋子
5	田所良夫	12	鶴見義明
6	早川貴光	13	木村久雄
7	小暮博志		

令和5年度 決算審査要望書

1 安定的財政運営の堅持とふるさと納税制度活用の推進

現在、本市の財政運営はおおむね良好であるが、今後は大きな支出を伴う市有施設の更新や学校施設整備等の実施から、財政硬直化による市民サービスへの影響が懸念される。そのための新たな歳入の確保及び財源の有効活用などにより安定的な財政運営を堅持するよう努められたい。

また、ふるさと納税は本市の大きな財源であるとともに、活力あるまちづくりや返礼品による地元企業の活性化等への効果が認められているが、今後の現状維持には高止まりの気配が伺える。取組の拡充や返礼品の動向を捉え、市として工夫を凝らすなど、市内事業者の協力を得ながら推進されたい。

2 若者移住・定住の促進と安全安心のまちづくりの構築

本市を魅力あるまち、またそこへ移り住みたい、住み続けたいまちとするためには、働く環境と安全安心なまちであることが不可欠である。本市の人口減少の継続課題として、若年層の転出超過が挙げられる。定住化促進とともに、若者移住につながる様々な支援の充実及び雇用の創出が見込める環境整備を推進されたい。

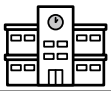
また、安全安心の郷土に資するには防災体制整備が重要である。この度、令和４年度の防災アセスメント調査を踏まえた佐野市国土強靭化地域計画及び佐野市地域防災計画の改定が行われた。市民の人命及び財産の保護を最優先に、全庁的な防災体制整備に向けた訓練の実施や、災害時受援体制の整備等の構築に努められたい。

3 こどもの健全育成と保護者の負担軽減に向けた取組の推進

全国的に児童虐待の増加傾向が顕著な中、本市においても子どもたちの健全な成長のため、保護者の育児にかかる負担の軽減が急務である。そこで、幼児教育及び保育の意義の重要性を踏まえた役割の拡充が求められている。国が進めている「こども誰でも通園制度」を円滑に導入し、実効性のある制度とするため、民間への財政支援や保育士の確保に努められたい。

また、障がい児が増加する中、地域に障がい児通所施設が増えている。健やかな育成を支援するため、障がい児のニーズを的確に捉え、支援に必要な施設の設置や人材の確保に努められたい。

4 未来をひらく豊かな心と確かな学力を育む教育の推進



昨今の技術革新や急速なグローバル化の進展により、社会は大きな変革期を迎えている。精度の高い未来予測を行うことは非常に困難なことであるが、これからは、世の中にあふれる不確実性に対応する力を持つことが重要である。そのような力を身に付けるためには、子どもたちの基礎的な学力向上に加え、自らの個性や可能性を伸ばし、存分に力を試すことができる環境の整備が必要である。そこで、子どもたちの豊かな心の醸成及び確かな学力向上を図るため、特色ある学校づくりの取組強化及び一人ひとりに応じた挑戦ができる環境整備の支援強化に積極的に努められたい。

5 地域資源を活かしたまちの活性化の推進

人口減少下において、コンパクトなまちづくりに主眼を置いた効率性及び効果性を高めるための取組は欠かすことはできない。本市を住み続けられるまちとして維持していくために、今後は、生活機能が確保された地域市街地の創出に加え、中心市街地をさらに魅力ある空間にするための整備を進めていくことが重要である。そこで、有休不動産の有効活用の促進並びに空き店舗等についての実態を把握した上で、様々な企業や団体等と連携した地域力の維持・強化、まちなか居住及び商業の活性化に向けた取組を積極的に推進されたい。

6 空き家対策の推進

近年の少子高齢化の進展や人口減少に伴い、本市においても空き家が増加している。特に、適切な管理がされず放置されている特定空家は、防災、衛生及び景観など、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。空き家の発生には様々な要因があり、防止するためには所有者への意識啓発が不可欠である。そのため、空き家問題に関する情報の発信、相続対策セミナーや住まいの終活に関するリーフレットの配布などの積極的な取組が必要であり、かつ、まちづくり施策及び移住・定住施策などの他の施策との連携が重要である。これらのことから、空き家の所有者等からの相談に迅速に対応できるワンストップサービスなどの相談体制の整備を推進されたい。

7 安全で良質な水の供給

今後の水道事業の経営が厳しいことから、水道料金の改定の検討がされている。市民の理解が十分に得られるような効果的な広報活動を行いながら、安全で良質な水を安定的に供給しつつ、経営環境を改善するための取組を着実に推進されたい。

高橋 功（たかはし いさお）議員（大樹会）

佐野市の水道施設の耐震化と更新の方向性について

Q 健全財政を保つために水道料金の改定の考え方について伺いたい。

A 上下水道局長

水道料金の改定については、令和2年度に策定した水道事業経営戦略において財政シミュレーションを行っていて、その中では令和7年度に赤字決算が見込まれるため、令和8年度に改定が必要としています。

社会情勢等の変化により、令和6年度の当初予算は赤字計上し、また令和5年度決算も赤字となるなど、経営戦略策定の時点よりも料金改定の必要性が高まっています。

安全で安心な水道水を安定的に供給していくためには、施設の耐震化や老朽化した水道管の更新を計画的に実施していく必要がありますので、近い将来適正な料金への改定を検討する必要があるものと考えています。

その他の質問

☆栃木県の盛土規制法に基づく規制区域(案)について
☆樹木への害虫と害獣による深刻な被害の現状について

菅原 達（すがわら とおる）議員（公明党議員会）

産業用地の整備の推進について

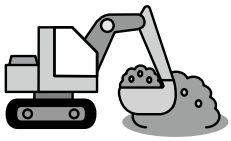
Q 国道50号沿線開発(西側エリア)は、ハザードマップ上で浸水エリアにあることが、産業用地として企業を誘致する際、他市との比較におけるデメリットになると懸念する。このハザードマップ上での懸念をいかに払拭するのか、何をもって安全であるということを示すのか、伺いたい。

A 市長

災害対策を十分に行い、リスク管理も行いながら、デメリットをメリットに変えて、企業への用地提供を行っていきます。また、垂直避難の在り方等も加味しながら、進出する企業があることに対して、その企業を応援できる環境が整えば、その環境において、企業を応援していくことは当然であると認識をしています。

その他の質問

☆幼児教育・保育の充実と質の確保について
☆骨密度検査の重要性について
☆市営住宅の共益費の取り扱いについて
☆猫の去勢・不妊手術費用などへの助成制度創設について



田所 良夫（たどころ よしお）議員（新政クラブ）

国際防災拠点の創設及び防災関連企業の誘致の背景、構想、進捗状況について

Q 仮にこの国際防災拠点の創設を行わなかったときに、本市の行政及び市民生活にどのような影響、リスクがあるか伺いたい。

A 市長

議員から松の木ということで、風雪に耐えながらも、歴史を積みながらも、その中でしっかりと大地に根を張ってきたと、そこから学ぶものは大きいものがあります。松で議員は例えていただきましたが、残念ながら松には花が咲きません。実はつけるかもしれません。私としては、これに花がつくように、佐野市があってもらいたいと思います。10年、20年先の佐野市を見据えながら、国際防災拠点の在り方というもの、地域社会の一員として、そして国際社会の一員として、市民の皆さんや議員の皆さんと一緒になってつくっていくことをお約束します。

久保　貴洋（くぼ　たかひろ）議員
（大樹会）

観光スポットの夜間ライトアップ事業について

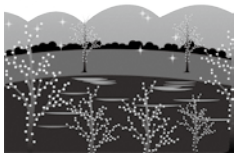
Q 令和6年度の実施内容について伺いたい。

A 市長
今年度の夜間ライトアップですが、実施にあたり、さのあかり実行委員会を組織しました。事務局を一般社団法人佐野市観光協会にお願いし、様々な観光事業者からのご意見を取り入れながら、実施内容の検討を進めていただいています。

場所は2ヶ所で開催し、1ヶ所目は昨年に引き続き出流原弁天池及び磯山弁財天、2ヶ所目は閑馬町にある人間国宝田村耕一美術館とのことです。

日程については、出流原弁天池及び磯山弁財天が11月16日土曜日から24日日曜日までの9日間、人間国宝田村耕一美術館は11月30日、12月1日、7日、8日のそれぞれ土、日で延べ4日間の実施をすると伺っています。

その他の質問
☆ゼロカーボンシティさの実現に向けたZEB化の推進について
☆あそ野学園義務教育学校の開校により閉校となった学校跡地の活用について



横井　帝之（よこい　ただゆき）議員
（新風）

佐野市文化会館大規模改修工事中の対応について

Q 今回の大規模改修事業は、建て替えではないので、工事が分かりにくいことが挙げられる。実際に市民から、まだ工事は始まらないのか、どんな工事なのかとの声が上がっている。

工事の進捗状況や内部の工事の様子を地元町会や周辺を散歩される方たちに分かるよう、周辺に工事内容や進捗状況を掲示することを提案したいが、考えを伺いたい。

A 市長
工事の進捗状況などについては、改修事業者の提案により、改修工事が開始される令和7年度から文化会館のホームページに公開して広くお知らせする予定です。

さらに、周辺への掲示についても、改修事業者と協議の上、現場の仮囲いフェンスなどに掲示できればと考えています。

また、工事の支障にならない範囲で、安全性を担保できる場合には、進捗状況の見学会を開催することも検討していきたいと考えています。

その他の質問
☆佐野市立中学校・義務教育学校の部活動地域移行について
☆民間施設におけるAEDの更新・普及について
☆佐野市立小中学校等空調設備設置に係る整備手法検討支援業務委託について

山菅　直己（やますげ　なおみ）議員
（政友みらい）

市民スポーツの活躍（活動）支援について

Q スポーツを通じたまちづくりについて、5年後、10年後を見据えた環境整備が必要と考える。どのように考えているか、伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長
スポーツを行うことは、体力の向上や生活習慣病の予防など、心身の健康の保持増進のみならず、スポーツを通じた交流、触れ合いによる地域社会における絆を強めるなど、多様な意義があります。「スポーツで活力と健康あふれる佐野市の創造」の実現に向け、スポーツを始めるきっかけやスポーツへの関心を高める事業を展開し、国内外で活躍するトップ選手の輩出や次世代の指導者育成を行う環境づくりも進めていきたいと考えています。

その他の質問
☆進化する佐野市・選ばれる佐野市について
☆「国際防災拠点さの」の整備について
☆自然災害への対応について
☆安全で安心して学べる教育環境について

小森　隆一（こもり　りゅういち）　議員
（公明党議員会）

大規模災害対応について

Q トイレ環境の整備は命を守る取り組みに通じるため、トイレトレーラーの整備について伺いたい。

A 市長

大規模災害が発生した際はトイレが使用できなくなることが想定され、トイレトレーラーは非常に有効であると認識していることから、令和6年3月に佐野インランドポートの指定管理者と「佐野インランドポートを活用した支援物資の受入れ及びコンテナ型トイレ等の提供に関する協定」を締結し、有事の際はコンテナ型トイレの提供をいただくことになっています。

また、トイレトレーラー等の活用が見込まれる市有施設等への設置については、本市が進める「国際防災拠点さの」の整備方針を基に検討を進めていきます。

その他の質問

☆認知症の人に寄り添った共生社会実現の推進について
☆学校防火設備の安全対策について

早川　貴光（はやかわ　たかみつ）　議員

人口減少社会における対策について

Q 令和5年の合計特殊出生率の目標が1.64で、2045年までに2.07まで上昇させるという話だが、令和4年の合計特殊出生率の1.14と乖離が大分ある。年度末までに第3期の総合戦略の策定と人口ビジョンの改定を行っていく中で、この目標設定を現実的なものにしていくのか、それとも目標達成のためにより施策を展開していくのか伺いたい。

A 市長

出会いというものがあって、結婚があって、そして出産があって、子育てという一連の流れの中で、やはり切れ目のない対応をしていくことが必要であり、佐野市がどちらかというと数字によって物を決めている節というのが実際にありますので、現実に近い数字の取扱いについては、今後そのような形を議員からのご提案もありましたので、進めさせていただければと思っています。

その他の質問

☆交通指導員について

春山　敏明（はるやま　としあき）　議員
（新風）

都市計画道路「伊勢山赤坂線」の鉄道立体交差と秋山川架橋建設等について

Q 都市計画道路「伊勢山赤坂線」が東武鉄道佐野線と交差する佐野市駅より館林方面へ約200メートル地点での鉄道交差問題はどのように調査研究が進められたのか。

A 市長

当該交差部については、立体交差、いわゆる高架により都市計画決定がされています。

この立体交差部については、市道1級3号線の歩道整備の検討と合わせて、都市計画に基づく整備が実現可能かどうか、昨年度に検討をした結果、南北の市道との交差点が鋭角になってしまうことや、道路の横断勾配が急になってしまうことなど、道路法に基づく道路構造令の規定に合致しないことが明らかになりました。したがって、都市計画道路としては、抜本的な見直しが必要であると考えているところです。

その他の質問

☆令和元年東日本台風（台風第19号）被災より激甚化対策治水工事後の秋山川「水辺の楽校」緑地復旧復興について

慶野（けいの）　常夫（つねお）　議員
（政友みらい）

佐野新都市行政サービスセンターの開設について

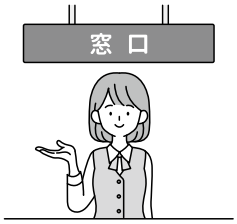
Q イオンモール佐野新都市内に行政サービスセンターを設置することになった経緯について伺いたい。

A **行政経営部長**

マイナンバーカードの更新や戸籍の広域交付などにより、今後窓口事務の取扱件数及び窓口利用者数の増加も見込まれることから、円滑な窓口運営を行っていくにあたり、現窓口の機能を補完できる新たな窓口が必要と考えていたところです。

また、年々人口、世帯数ともに増加傾向にある佐野新都市エリアでは、現在行政機能がないという状況で、平日、休日を問わず多くの市民の方が利用されるイオンモール佐野新都市に行政サービスセンターを設置することに至ったものです。

その他の質問
- ☆佐野市運動公園について
- ☆市内の市立小中学校・義務教育学校の体育館について



鈴木（すずき）　靖宏（やすひろ）　議員
（新政クラブ）

佐野市の防災について

Q 佐野市防災会議条例第2条第3項では、市長の諮問に応じて市の地域に係る防災に関する重要事項を審議することとあるが、この防災会議において、国際防災拠点関連の話題を出さなかったのか。

A **行政経営部長**

国際防災拠点佐野整備方針についてですが、令和6年度及び7年度については、関係主体に対して、支援体制を築くために必要な調査を実施するほか、庁内においては、連絡会議等を設置し、各施策において取り組む事項の整理、あるいは実証事業などを行いながら、支援体制の整備の取りまとめを順次施策として精査をしていくことで承知しています。今後防災会議のご審議をいただく必要性が生じた際には、その旨議案として出てくるものと認識しています。

その他の質問
- ☆学校文化財について
- ☆ＡＥＤの普及促進について

神宮次（じんぐうじ）　秀樹（ひでき）　議員
（政友みらい）

林道・作原沢入線及び展望台の計画について

Q 令和6年5月以降に行った現地打合せ等の経過について伺いたい。

A **産業文化スポーツ部長**

7月21日に、展望台等の設置を予定している場所の土地所有者の方々と、昨年度実施した概略設計を基に、現地において大まかではありますが、配置等の確認を行いました。その際、土地所有者の方々からは様々なご意見をいただいたところです。あずまやは大き過ぎないものがよい、あずまやへの階段は安全面を考慮し入り口付近の工夫が必要、植物の保護が必要、展望台から見えるものを示す案内板を設置した方が良い、などのご意見をいただきました。

展望台に加えて駐車スペースの確保、トイレの設置、電気をどのように確保するのかなど調査検討を進めているところです。

その他の質問
- ☆市政情報等の情報発信について
- ☆ゲリラ豪雨、ゲリラ雷雨（短時間による大雨、雷雨）等への対応について

パソコン、タブレット、スマートフォンで会議録をご覧になれます
佐野市議会会議録

滝田（たきた）　洋子（ようこ）　議員
（日本共産党議員団）

重度心身障がい者医療費助成について

Q 重度心身障がい者医療費の償還払いについて、本人に代わり申請をする親が高齢になり、申請書を記入するのもとても大変との声があるが、申請をしていない方の調査結果を伺いたい。

A **こども福祉部長**

重度心身障がい者医療費助成の受給資格者で、過去3年間に医療費助成を申請されなかった103人を調査対象とし、59人から回答をいただきました。「申請の方法が分からなかった」が30人、「医療費が少額のため申請しなかった」が16人、「医療機関への受診がなかった」が8人、「申請に出向くことが困難で、代理申請できる家族等がいない」が5人でした。

今回の調査結果を踏まえて、今まで以上に丁寧で分かりやすい説明を行い、制度を有効に活用していただけるよう周知を図っていきたいと考えています。

その他の質問
- ☆野生動物への対策について
- ☆こどもクラブについて
- ☆不登校に関わる教員研修会について

小暮（こぐれ）　博志（ひろし）　議員
（政友みらい）

データヘルス計画について

Q 佐野市の特定健診の受診率が低いことについてどのように考えているのか。

A **市長**

本市の特定健康診査の受診率は徐々に上昇しているものの、全国平均及び県平均を下回っている状況にあります。このことから、かかりつけ医の先生から特定健診について一言お声かけいただくことや、本人の同意を得た上で、本市の診療情報を提供してもらう取り組み、また、受診率が低い40代の未受診者宅を訪問し、本人及び家族の方に対し、健診を受診していただくような働きかけを本年度から開始しました。

さらに、今後も健康長寿づくりに関する協定を締結した協力事業者とともに、各種検診の受診率を向上させるような取り組みを進めていきたいと考えています。

その他の質問
- ☆圃場整備事業について

小倉（おぐら）　健一（けんいち）　議員
（志翔会）

盛り土規制、対応について

Q 鉱山保安法で届出が義務づけられる集積所等は、盛土規制法に基づく許可・検査は不要であり、「土地を安全な状態に維持に努めなければならない」とされているが、鉱山を閉山した後の盛土についてどのように取り組んでいくか伺いたい。

A **都市建設部長**

鉱山保安法等他の法令の規定に該当しなくなった既存の盛土等についても、盛土規制法において、土地所有者等に対する土地の保全等の義務が規定されています。また、県において必要に応じ盛土等の現地に立入り検査が行えることや災害の防止のため必要があると認める場合は、土地の所有者、管理者、工事主または工事施工者に対し、災害防止のための措置を取るよう勧告し、それに従わない場合は、改善命令や罰則を科すことができるものです。

その他の質問
- ☆佐野市の防災について
- ☆佐野市の安全な「水」について
- ☆市営住宅について

蘓原（はぎわら）　政夫（まさお）　議員
（政友みらい）

「こどもまんなか社会」実現に向けての佐野市の取り組みについて

Q 令和6年4月から7月のいじめ、不登校の状況について伺いたい。

A **教育長**

令和6年4月から7月末までの本市のいじめ、長期欠席の状況等調査の結果では、いじめの認知件数は合計47件となっており、前年の同時期と比較して19件増加しています。

内容としては、冷やかし、悪口が約7割で一番多い状況です。また、不登校について、30日以上欠席している児童生徒数は、7月末で合計150人となっており、前年の同時期と比較して16人増加しています。

不登校の児童生徒やその保護者が、不登校の要因として学校に相談した内容としては、不安や抑鬱、学校生活にやる気が出ない、生活リズムの不調等の相談が多い状況となっています。

その他の質問
☆田中正造翁について
☆佐野市在住の外国人について

長浜（ながはま）　成仁（なるひと）　議員
（政友みらい）

国際防災拠点さの整備方針の今後について

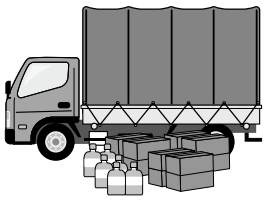
Q 国際防災拠点を整備するためにどの程度の予算が必要と見込んでいるか伺いたい。

A **総合政策部長**

本事業については、ポテンシャル調査やニーズ調査を実施し、被災地の復旧復興に必要な業務、取り組むべき事業を調査、整理していきますので、現時点においては事業費の算定をしていません。

なお、本事業はハード整備を中心に据えた取り組みではなく、官民連携によるソフト事業が主になる取り組みであり、国や県、関係団体との連携のもと、平時から必要とされる機材、物資等を支援物資として有効活用する仕組みを考えているものであり、膨大な事業費にはならないものと考えています。

その他の質問
☆外国語教育の充実について
☆ペット同行避難所の導入について



澤田（さわだ）　裕之（ひろゆき）　議員
（大樹会）

女性支援事業について

Q 女性支援事業として、女性自立支援施設などがある。しかし、本人の立場に寄り添って相談に応じ、様々な機関と連携、協力して、一人一人のニーズに応じた包括的な支援を実施することが重要である。今後の女性自立事業の取り組みについて伺いたい。

A **こども福祉部長**

今後の取り組みとしては、相談者にとって最も身近な相談窓口としてさらに広く周知するとともに、女性相談支援員のさらなる資質の向上に努めていきます。

また、児童福祉、母子保健、障がい福祉、高齢者福祉、生活困窮者支援等の様々な関係機関との連携を強化し、個々に応じた適切な支援につなげるなど、相談者が安心かつ自立して生活を送ることができるよう、今後もより一層適切な相談支援に努めていきます。

その他の質問
☆市民の健康寿命の延伸について
☆水道事業について

パソコン、タブレット、スマートフォンで会議録をご覧になれます
佐野市議会会議録

鶴見（つるみ）　義明（よしあき）　議員
（日本共産党議員団）

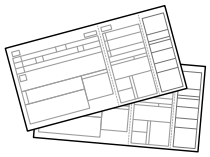
国民健康保険について

Q 国民健康保険税の均等割の減額について伺いたい。子供が中学生以下であれば基本的には未就労者ということで収入が伴わない。子供の多い家庭ほど負担が重くのしかかってくる。これが現実である。均等割の全額免除を検討していただきたい。

A 市長　未就学児に対する均等割減額措置について、対象者と減額幅のさらなる拡充を引き続き検討することとされていることから、当減額措置の拡大については財源を伴う国の制度において行うべきと考えています。

　栃木県の統一的な方針として定めた栃木県国民健康保険運営方針（第3期）において、県内市町保険税水準の統一に向けた県内市町の保険税算定方式の統一が求められているところですので、本市単独における保険税軽減制度の拡充は難しいものと考えています。

その他の質問
☆無縁遺骨について



木村（きむら）　久雄（ひさお）　議員
（公明党議員会）

市道の法面管理について

Q 中山間地域等では近年少子高齢化により、年数回行われている町会での道路清掃での市道法面の草刈りなどが厳しくなってきている現状がある。また、草刈り機などは数少ない方が使用して、市道法面を草刈りしているのが現状である。

　町会で実施する道路清掃以外でも市道法面等の草刈りをしている方に、草刈り機等の燃料費の助成ができないか伺いたい。

A 都市建設部長　市所有の法面を市民の方に草刈りをしていただいた場合、特に助成は行っていませんが、草の回収処理を市で行っているところです。また、市内道路の維持保全のため自主的な活動を行う、町会で構成された佐野市道路愛護会の各支部に対し、市からの支援として、除草を行った場合は参加人数や作業に応じて補助金を交付しているところです。

その他の質問
☆飲食の安全対策について
☆所有者不明土地について

➤ 令和６年第５回定例会（９月定例会）審議された議案等と結果

　第5回定例会（9月定例会）は、9月6日（金）から10月2日（水）までの27日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。令和5年度決算に係る議案は3ページをご覧ください。

議案番号等	件　名　【内　容】	議決結果等	
意見書案第2号	再審法改正を求める意見書について【詳細は15Pに掲載】	原案可決	賛成全員
報告第11号	令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率について【令和5年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】	報　告	－
議案第68号	人権擁護委員候補者の推薦について【加藤（かとう）　清（きよし）氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第69号	人権擁護委員候補者の推薦について【山﨑光子（やまざきみつこ）氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第70号	人権擁護委員候補者の推薦について【藤田（ふじた）　睦（むつみ）氏を推薦】	推薦同意	賛成全員

議案番号等	件　名　【内　容】	議決結果等	
議案第71号	**人権擁護委員候補者の推薦について**【東（あずま）　好章（こうしょう）氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第72号	**佐野市個人番号の利用に関する条例の改正について**【マイナンバーカードと健康保険証の一体化により医療費の助成に関する事務の情報連携を図るため、別表第2に医療保険給付関係情報を追加し、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第73号	**佐野市行政財産使用料条例の改正について**【佐野市役所市民広場駐車場の使用料を定めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第74号	**佐野市税条例の改正について**【地方税法等の改正に伴い、固定資産税の課税標準の特例の割合を改め、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第75号	**佐野市都市計画税条例の改正について**【地方税法等の改正に伴い、都市計画税の課税標準の特例の割合を改め、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第76号	**佐野市国民健康保険条例の改正について**【国民健康保険法の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成多数
議案第77号	**佐野小学校外LED照明整備事業設計施工一括契約について**【佐野小学校外LED照明整備事業設計施工一括契約の執行】	原案可決	賛成全員
議案第78号	**消防用ポンプ付大型水槽車の取得について**【消防用ポンプ付大型水槽車の取得】	原案可決	賛成全員
議案第79号	**小型動力ポンプ付積載車の取得について**【小型動力ポンプ付積載車の取得】	原案可決	賛成全員
議案第80号	**栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について**【高齢者の医療の確保に関する法律の改正に伴い所要の規定を整備するため、栃木県後期高齢者医療広域連合規約を変更することについての関係地方公共団体との協議】	原案可決	賛成多数
議案第88号	**令和6年度佐野市一般会計補正予算（第5号）**【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,041,138千円を追加、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第89号	**令和6年度佐野市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）**【歳入予算の補正】	原案可決	賛成全員
議案第90号	**令和6年度佐野市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）**【歳入歳出予算の総額にそれぞれ370,363千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第91号	**令和6年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）**【歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,329千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第92号	**救助工作車の取得について**【救助工作車の取得】	原案可決	賛成全員
議案第93号	**財産の取得の追認について**【小学校教師用教科書及び指導書の取得についての追認】	原案可決	賛成全員
議案第94号	**損害賠償の額の決定及び和解について**【令和6年5月13日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	原案可決	賛成全員
議案第95号	**令和６年度佐野市一般会計補正予算（第６号）**【繰越明許費の補正】	原案可決	賛成全員
陳情第　5号	**再審法改正を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情**【詳細は15Pに記載】	採　　択	賛成全員

➤ 賛否が分かれた議案

議案番号	件　名	賛成	反対	議員名［議席番号順］																							
				1	2	3	4	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				長浜成仁	藁原政夫	神宮次秀樹	小森隆一	早川貴光	小倉健一	金子保利	慶野常夫	川嶋嘉一	菅原　達	木村久雄	田所良夫	鈴木靖宏	久保貴洋	澤田裕之	滝田洋子	鶴見義明	小暮博志	山菅直己	春山敏明	横井帝之	飯田昌弘	高橋　功
議案第76号	佐野市国民健康保険条例の改正について	20	2	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第80号	栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	20	2	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

※○＝賛成　×＝反対
※川嶋嘉一議長は採決に加わりません。

陳情の審議結果

陳情第5号

再審法改正を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情

▼陳情人

栃木県弁護士会　　会長　石井　信行

▼陳情の要旨

国に対し、えん罪犠牲者を救済するために、刑事訴訟法の再審規定（再審法）について、以下の２点を内容とする改正を求める意見書を提出することを採択していただくよう陳情します。

（１）再審における検察手持ち証拠の全面開示

（２）再審開始決定に対する検察官の不服申立て(上訴)の禁止

▲全文は、こちらからご覧になれます。

▼審議結果

総務常任委員会に付託され、賛成全員で採択となりました。本会議においても賛成全員で採択となりました。

意見書案の審議結果

意見書案第2号

再審法改正を求める意見書について

（提出者）小倉健一議員、（賛成者）神宮次秀樹議員、山菅直己議員、田所良夫議員、木村久雄議員、澤田裕之議員により再審法改正を求める意見書案が提出され、常任委員会への付託を省略し、賛成全員で可決されました。意見書は、佐野市議会として内閣総理大臣に提出しました。

▲全文は、こちらからご覧になれます。

再審法改正を求める意見書

えん罪は、国家による最大の人権侵害の一つです。えん罪被害者の人権救済は、人権国家を標ぼうするわが国にとってはもちろん、地域住民の人権を護る義務を有する地方自治体にとっても重要な課題といえます。

ところで、えん罪被害者を救済するための制度としては「再審」があります。しかし、その手続を定めた法律（刑事訴訟法第四編「再審」）には、再審請求手続の審理のあり方に関する規定がほとんどなく、裁判所の広範な裁量に委ねられています。このように、いわば「再審のルール」が存在しない状態となっているため、再審請求手続の審理の進め方は、事件を担当する裁判官によって区々となっており、再審請求手続の審理の適正さが制度的に担保されず、公平性も損なわれています。

その中でも、とりわけ再審における証拠開示の問題は重要です。過去の多くのえん罪事件では、警察や検察庁といった捜査機関の手元にある証拠が再審段階で明らかになって、それがえん罪被害者を救済するための大きな原動力となっています。したがって、えん罪被害者を救済するためには、捜査機関の手元にある証拠を利用できるよう、これを開示させる仕組みが必要ですが、現行法にはそのことを定めた明文の規定が存在せず、再審請求手続において証拠開示がなされる制度的保障はありません。そのため、裁判官や検察官の対応いかんで、証拠開示の範囲に大きな差が生じているのが実情であって、このような格差を是正するためには、証拠開示のルールを定めた法律の制定が不可欠です。

しかも、再審開始決定がなされても、検察官がこれに不服申立てを行う事例が相次いでおり、えん罪被害者の速やかな救済が妨げられています。しかし、再審開始決定は、裁判をやり直すことを決定するにとどまり、有罪・無罪の判断は再審公判において行うことが予定されており、そこでは検察官にも有罪立証をする機会が与えられています。したがって、再審開始決定がなされたのであれば、速やかに再審公判に移行すべきであって、再審開始決定という、いわば中間的な判断に対して検察官の不服申立てを認めるべきではありません。

よって、えん罪被害者を一刻も早く救済するために、再審法を速やかに改正すべきです。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和6年10月3日
佐野市議会

令和6年12月定例会日程（案）

令和6年12月定例会の日程は、11月29日（金）の議会運営委員会で内定し、12月6日（金）の本会議で決定します。

11/25日（月）	26日（火）	27日（水）	28日（木）	29日（金）	30日（土）	12/1日（日）
		請願・陳情 提出期限（17:00）		10:00 議会運営委員会		
2日（月）	3日（火）	4日（水）	5日（木）	6日（金）	7日（土）	8日（日）
				10:00 本会議 （開会、議案説明）	休会	休会
9日（月）	10日（火）	11日（水）	12日（木）	13日（金）	14日（土）	15日（日）
休会	10:00 本会議 （議案質疑）	10:00 本会議 （一般質問）	10:00 本会議 （一般質問）	10:00 本会議 （一般質問）	休会	休会
16日（月）	17日（火）	18日（水）	19日（木）	20日（金）	21日（土）	22日（日）
10:00 本会議 （一般質問）	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	休会	休会
23日（月）	24日（火）	25日（水）	26日（木）	27日（金）	28日（土）	29日（日）
本会議 （委員長報告、質疑、討論、表決、閉会）						

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案・請願・陳情の件数が６件以下の場合は午前10時に開会し、７件以上の場合は午前9時に開会となります。

あなたと議員を繋ぎます

令和６年度 佐野市議会報告会

こんなテーマについて意見交換します！！

- ❶ 耕作放棄地対策について
- ② 人口減少対策について
- ❸ 義務教育学校について
- ④ 中学校部活動地域移行について
- ❺ 閉校跡地利用について
- ⑥ 佐野市の防災について

日時 令和６年 11月23日（土・祝） 受付 13:30 開始 14:00

会場 佐野市役所1階市民活動スペース ABC

議会報告	意見交換
1.令和６年９月定例会について	1.上記①～⑥のテーマについて意見交換
2.令和５年度決算について	2.市議会及び議員に対して望むこと
3.指定管理者制度の在り方調査特別委員会について	3.その他（議会報告1～3、自由意見）

第20回

佐野市民スポーツ大会

10月13日に開催された第20回佐野市民スポーツ大会で佐野市議会チームが団体対抗リレーに参加しました。第2組目に出場し、大健闘の3着でゴールしました。

編集後記

9月定例会途中からすっかり秋の気配となり、9月に開催された地域を代表するお祭りである「くずう原人まつり」も「さの秀郷まつり」も過ごしやすい気候で、多くの人でにぎわいを見せていました。10月に佐野市国際クリケット場でエンバシーカップと同時開催の「たぬまふるさと祭り」も地域のお祭りとして人気です。どのお祭りも地域の特色があり、それぞれの「味」もあり、観るもの、聞くもの、食べるものと楽しませてくれました。市民の皆様におかれましては、これから寒い時期になりますのでご自愛ください。（横井記）

【編集委員会】

委員長 久保 貴洋
委員 小倉 健一
委員 横井 帝之
委員 早川 貴光
委員 慶野 常夫

本紙は再生紙を使用しています。

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 佐野市議会

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町１番地
電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp